

# 部・次長会議 要約会議録

日時：平成 30 年 7 月 30 日（月） 8：30～9：40

場所：名寄庁舎 4 階大会議室

## 1 開 会

### 2 市長あいさつ

- ・ 7 月には北海道から西日本にかけて大雨災害があり、西日本豪雨では死者や行方不明者が多く、いまだ避難生活をされている方も多い。
- ・ 北海道では石狩川や雨竜川で河川の氾濫が起きている。局地的な雨が続いており、この雨がもう少し北であれば天塩川にも被害があったと思われる。
- ・ 防災訓練も先日開催され、やるべき事の再確認から防災意識の向上を感じた。我々もしっかりと再認識する必要がある。
- ・ 農作物の生育については、6 月からの低温長雨で心配していたが、ここ数日の猛暑で特に水稻が回復している。
- ・ 7 月は各種イベントで雨が降らず天候に恵まれた。8 月もイベントが多くあることから天候に恵まれるよう、積極的な参加をお願いします。

### 3 市長・副市長の動静

#### 教育委員会関係行事予定

- ・ 市長、副市長の動静及び教育長の動静について連絡がありました。

### 4 協議事項・報告事項

#### (1) 市政への要望

- ・ 市政への要望について、担当部局より報告がありました。

No.	受付番号	件 名	受 付 年月日	要望者	担当部署
1	5	市営麻生テニスコートの整備 [P5-6]	H30. 7. 5	名寄ソフトテニス連盟 会長 今 尚文	教育部 スポーツ・合宿推進課

#### (2) 市政への要望事項の処理状況報告

- ・ 市政への要望事項の処理状況について、担当部局より報告がありました。

No.	件 名	受付日 (受付番号)	処理日	担当部署
1	森林認証の取得に向けた取組みへの賛同及び支援 [P7]	H29. 12. 22 (No.18)	H30. 6. 26	經濟部 耕地林務課

(3) 平成30年第2回定例会における検討事項について【追加分】

- ・検討事項について、担当部局より報告がありました。

No.	件名	担当部
1	○第40回を迎えるなよろ産業まつりについて	経済部
2	○食育推進と地産地消の取り組みについて	経済部

(4) 平成29年第4回定例会における処理顛末について

- ・検討事項の処理状況について、担当部局より報告がありました。

No.	件名	担当部
1	○子育て支援員の資格取得について ・現状では資格取得希望者が少なく、研修事業を見合わせる自治体が多くある。 ・少人数の希望者に対する研修の実施は、市立大学の講師負担につながり、効率的ではないので実施しない。	健康福祉部
2	○子育て支援の推進について ・今年度は、親子お出かけバスツアーを天文台の協力により名寄日進地区でも実施する。	健康福祉部
3	○Uターン就職を考える若年層への対応強化策について ・平成30年2月に名寄市移住促進協議会の専用ホームページを開設した。	経済部
4	○学生への支援について ・今年度の説明会を9月～10月頃に予定しているので、その場で提案する。	市立大学

## 5 連絡事項・その他

(1) 概算予算調書（中期財政計画資料・総合計画ローリング資料）について【総務部】

- ・内容について説明がありました。

(2) 平成30年度普通交付税交付額の決定について【総務部】

- ・内容について説明がありました。

(3) 第40回なよろ産業まつり開催に伴う協力依頼について【経済部】

- ・協力について依頼がありました。

(4) 第40回風連ふるさとまつり開催に伴う協力依頼について【経済部】

- ・協力について依頼がありました。

(5) 有森裕子2018なよろひまわりリレーランについて【経済部】

- ・協力と当日の観戦について依頼がありました。

(6) 介護予防講演会について【健康福祉部】

- ・内容について説明がありました。

(7) 名寄市まち・ひと・しごと創生総合戦略の見直しについて【総務部】

- ・内容の確認について説明がありました。

## 6 その他

- ・名寄市自殺対策計画の策定について説明がありました。
- ・熱中症の緊急出動が多発していることから注意喚起がありました。

## 7 閉 会

〈加藤市長から〉

- ・暑い日が続いており、暑さからくる体調管理について願います。
- ・総合計画と中期計画の策定および総合戦略の見直しがいよいよ始まる。特に重要な事は人口減少であり、人口減少に歯止めをかけなければ地域全体の元気に関わってくる。また、出生率や人口の社会増減などについても具体的にしっかりと分析して次の政策立案につなげること。
- ・立地適正化計画を含めた面の整備では、老朽化した建物の建て替えのほか、高規格道路もあと数年で名寄に接続されるとインターチェンジ含めて街のあり方が大きく変わってくる。人口が多少減少しても拠点化とネットワークづくりに上手く取り組むことで活気のある街づくりが可能になる。
- ・これらを市民全体が考えていける機運をもう一段高めていく必要がある。それはコミュニティカ、町内会力、コミュニティ・スクールであり、人口減少を食い止める上で重要。そのため、より具体的かつ効果的な予算の投入をする必要があり、具体的な分析と知恵を出し一丸となってこの難局を乗り越える必要がある。